

国立市特別職職員報酬等審議会条例

昭和39年12月25日条例第27号

(設置)

第1条 市長の諮問に応じ、特別職職員報酬等の額について審議するため国立市特別職職員報酬等審議会（以下「審議会」という。）をおく。

(所掌事項)

第2条 市長は、議会議員等非常勤の特別職職員の報酬の額ならびに市長等常勤の特別職職員の給料の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ当該報酬等の額について審議会の意見を聞くものとする。

(委員)

第3条 審議会は、委員10人をもつて組織し、その委員は国立市の区域内の公共的団体等の代表者その他住民のうちから、市長が任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 審議会に会長をおき、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、あらかじめ、会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、行政管理部職員課において処理する。

(雑則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関する必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和42年 1 月 1 日条例第 1 号抄）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和42年 9 月 28 日条例第30号抄）

- 1 この条例は、昭和42年10月 1 日から施行する。

附 則（昭和44年 3 月 26 日条例第 3 号抄）

- 1 この条例は、昭和44年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和46年 9 月 30 日条例第19号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和51年 3 月 29 日条例第 2 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和53年 3 月 29 日条例第 3 号抄）

- 1 この条例は、昭和53年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成24年12月26日条例第28号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成25年 4 月 1 日から施行する。